

リスクリಂಗ人材育成事業 令和7年度実績報告及び令和8年度進捗状況について（報告）

1 リスクリಂಗ人材育成事業について

（1）目的

- 企業内のDX人材の育成や業務の効率化、人材の再配置等を推進するため、個々のスキルに応じたオンライン講座により、県内中小企業等の従業員にリスクリングの機会を提供する。

（2）主な事業内容

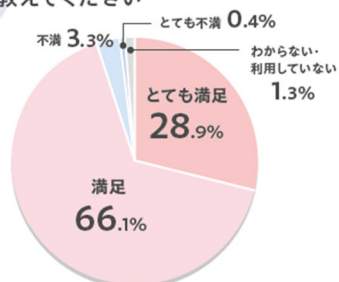
- 県内中小企業等で働く従業員に対し自身の持つデジタルスキルの見える化を行い、スキルに応じた学習計画を組立てる。
- 受講者に対し組立てた学習計画に合ったオンライン講座を提供する。オンライン講座を受講する中で進捗管理やモチベーションの維持、課題・ワークのフォローなどの伴走支援を行う。
- 業務内容の変化や今後新たに発生する業務で必要とされる知識やスキルを習得する「学び続ける人材＝自律型学習人材」の育成を行う。

2 令和7年度の実績報告

受講者アンケートによる結果は以下のとおり。（回答数：239 件）

Q1

本プログラムの参加満足度を教えてください

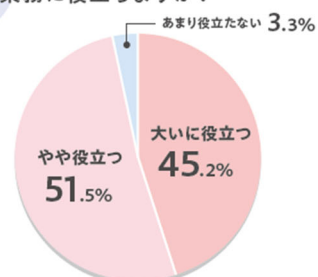


コメント

- 学習伴走があるので定期的に「やらなきゃ」という気持ちになりました。業務が立て込むどうしても自学自習の時間は後回しになるので、とても助かりました。
- 個人では、何からどのように学習を進めればよいのか見当もつかなかったのですが、スキルを診断しそれに合ったカリキュラムを設定してくれたことで、段階を踏んで学びを進めることができました。
- 通勤時などのスキマ時間に学習できて、とても良かったです。さらに、講義が細かく分かれているので、もう一度見返すときも見たいポイントをすぐに探すことができました。

Q2

今回のプログラムで学んだことは業務に役立ちますか？



コメント

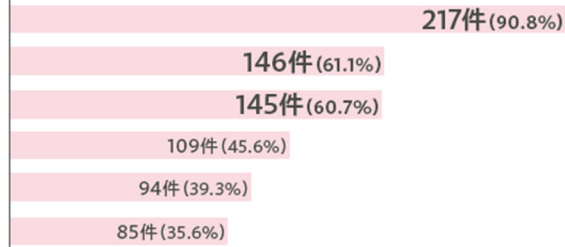
- 個人で情報収集するだけでは得にくい最新の情報を、丁寧にわかりやすく説明してもらえました。AIツールの具体名も教えていただき、実際の業務に組み入れて使用できています。
- 業務フロー図を作成するために必要な「課題の棚卸し・整理の考え方」を学べたのが良かったです。また、各種ツールやサイトについても、どのように探せばよいかわからない状況でしたが、講義やゼミの講師からのアドバイスのおかげで、いくつか当たりをつけられるようになりました。
- 社内業務システム導入にあたり、DXを全く理解できておらず、導入判断の軸を持てていませんでしたが、本事業での学びを通じて、営業担当者からのプレゼンテーションを理解し、採択することができました。

Q3

今回のプログラムで魅力を感じた点を教えてください

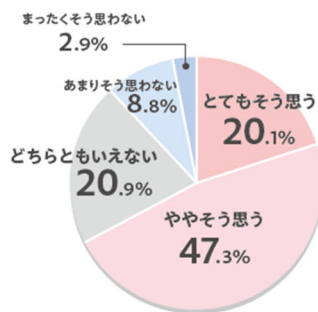
※複数回答可 最大3つ選択 複数回答のため合計は必ずしも100%にならない

無料でオンライン学習支援を受けることができる
課題に応じて複数のコースから選択ができる
スキマ時間を活用しながら自分のペースで学習できる
学習の伴走支援を受けることができる
業務に直結するコースが設定されている
複数名(1社3名)で受講できる



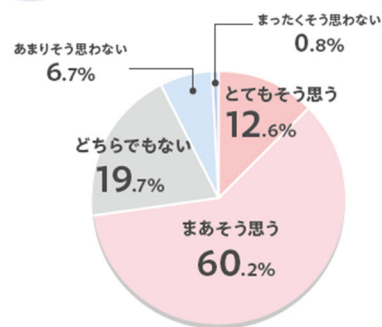
Q4

データやデジタル技術の
利活用にあたり、
抵抗感なく挑戦できると感じますか？



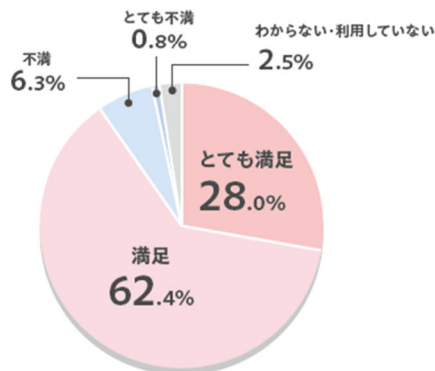
Q5

取り組みを続けることで
今後成果を出すことができると
感じますか？



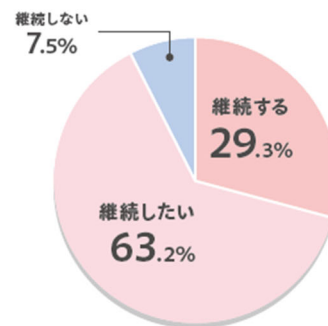
Q6

オンライン実践ゼミの
満足度を教えてください



Q7

プログラム終了後も
リスキリングを継続する
予定はありますか？



3 令和8年度の実施状況

○応募企業 302 社／667 名

○受講企業 150 社／431 名（1 社最大 3 名、対象：経営者、管理職及び従業員 等）

<令和7年度からの変更点>

○「経営者・管理者向け DX 推進コース」と「経営戦略コース」を統合し「経営層・リーダー層のための企業競争力を高める DX 戦略コース」を設定

○「IT・デジタル環境整備コース」を新設

○啓発セミナー数を2回から3回に増設